

みんなで支える集落営農

～ 時給の支払える営農品目の育成 ～



柿の摘み取り状況

経営体育成基盤整備事業
北中村地区

夷隅農林振興センター

1 いすみ市の概要について

いすみ市の位置について述べさせていただきます。

本市は千葉県南東部に位置しており、東京都心から、南東75km千葉市から45kmに位置しています。北は睦沢町、東は一宮町、西は大多喜町、南は勝浦市・御宿町にそれぞれ接し、水稻を中心とする温暖な純農村地帯であります。

現在の人口は42,305人（平成17年国勢調査速報値）となっています。

北中村地区につきましては、旧夷隅町にあり町の中心部より北に約4kmほど行った農村地帯（ピンク色の部分が受益地）の中にあります。また、本地区周辺は、広域営農団地農道整備事業 南総地区の開通、国道465号線バイパスの建設（予定）に伴ない千葉方面・首都圏への新鮮な食料生産基地として益々重要となっています。

下記の位置図参照してください。

位置図



いすみ市の農業情勢について述べさせていただきます。

耕地面積については、夷隅地域A=6 2 4 5 haでいすみ市はA=3 6 9 2 ha（水田3 0 7 0 ha、畑6 2 2 ha、）となっています。

農家数については夷隅地域は4 2 9 5 戸でいすみ市は2 7 2 6 戸となっています。内販売農家における専業農家は夷隅地域は3 1 7 2 戸・いすみ市は1 7 5 4 戸、第一種兼業については、夷隅地域は2 3 8 戸・いすみ市では1 5 7 戸、第二種兼業については、夷隅地域は2 3 8 8 戸・いすみ市では1 2 8 8 戸となっています。また、農業産出額は夷隅地域1 2 9 億 3 千万円・いすみ市では8 2 億 4 千万円となっています。

2 導入された事業の概要について

(1) 経営体育成基盤整備事業について

採択面積要件は受益面積 $A = 20$ ha以上であること。
 30 a以上の区画が $2/3 \geq$ であること。
 補助率については、国 50% ・県 35% ・地元 15%
 以上となっています。

(2) 経営体育成基盤整備事業 北中村地区について

本地区の事業工期については、採択年度は平成11年度であります。
 事業実施期間は8年間(着工平成11年度～平成18年度まで)で行っています。
 本地区の受益者数は84人となっています。
 受益面積は $A = 42.8$ ha(水田 $A = 41.0$ ha、畑 $A = 1.8$ ha、)です。
 地区の真ん中を流れる神置川を挟んで北中村工区・峰谷工区
 の2工区となっています。

(3)本地区の事業費内訳については下記の通りです。

事業費及び工事内訳表

種 目	工 事 内 容	事業費(単位:千円)
整地工	$A = 42.8$ ha	86,866
用水路工	支線用水路 $L = 8.4$ km	167,803
排水路工	支線排水路 $L = 5.0$ km	152,782
道路工	幹線道路 $L = 0.6$ km、 支線道路 $L = 5.0$ km	29,767 40,247
暗渠排水工	$A = 41.1$ ha	77,343
測量試験費	1式	165,192
合 計		720,000

3 事業の成果

(1) 農地の利用集積(北中村)

	受益面積	担い手所有	使用収 益権	3作業	集積面積	集積率	備 考
完了時	42.8	2.19	5.6	12.96	20.75	48.48	
目標年次		2.19	5.6	12.96	20.75	48.48	
実績		2.31	0.36	21.42	24.09	56.28	北中村地区
実績		0	0	13.81	13.81	32.7	峰谷工区

H20年度現在(聞き取り)

(2) 峰谷営農組合(任意団体) について

それでは、ほ場整備事業北中村地区の峰谷営農組合(任意団体) について、その取り組み・活動状況を説明させていただきます。

- ①所在地 いすみ市神置 1 1 8 9 (峰谷青年館)
- ②組合員 22名
- ③設立年月日 平成16年1月1日
- ④事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
- ⑤役員 理事9名、監事2名、合計11名
- ⑥営農面積(本地) 水田13.81、畑0.43、柿園0.30
計14.59ha

作付け面積及び位置図



- ⑦所有機械等 コンバイン1台
スピードスプレヤー(500L・600L)2台
ビニールハウス2棟、(200㎡トマト、)
農作業兼倉庫1棟A=116㎡、(敷地1400㎡)

⑧収支等

	H18	H19	H20	備 考
事業収入	13,830	16,266	19,242	
組合員への支払い	8,213	10,210	11,025	
個人への支払い	373	464	501	組合員平均

組合員22名 金額は千円単位

上記表でわかるように年々収支増になっています。
なお、ほ場整備事業等の賦課金を含めての支出は
峰谷営農組合が一会計の中で負担しています。

⑨作業方法

主体的にオペレータ2名と役員2名が実施しています。
組合員を3班に編制、各班長の指示により各作業を
実施しています。(作業日誌の記載)

⑩峰谷営農組織と地区の活動状況



組合員所有の柿畑が全体A = 3.5 haあり、(地区内0.3 ha営農組合直営面積) 峰谷営農組合の活動にて共同防除を行っています。

また、観光摘み取りを実施しており、H20年度の来園者は約400名であった。今回園の環境整備(トイレ・駐車場等)をして、更なる来園者の増加をめざしています。



なばな栽培について

夷隅農林振興センターで推奨している作物であります。

人手を要するので集落単位での取組みに合った食用なばなですが、以前は結束出荷していましたが、現在はバラ出荷を始めています。またもう一つは観光摘み取りについても検討し、現在は始めています。

なばなの作付け

耕畜連携活動について

畜産農家(1戸)と連帯して稲わらをA = 5.9 ha分収集し、畜産農家に購入していただき事業収益を得ています。

このほかに、飼料トウモロコシA = 4.2 haを栽培しています。

写真は稲わらを機械で丸めている状況であります。



稲わらの収穫作業(耕畜連携)



ブルーベリー・花

ブルーベリー

夷隅地域では、いすみ農協において平成16年度から市場出荷についての打ち合わせを行い、平成17年度に試験販売開始をしました。平成18年度から本格販売をしています。

また、出荷者全員がエコファーマー認証を受けています。現在は生産者44名でA=2.4haで栽培しています。

北中村工区では、ほ場区域以外を含めて1.2haで栽培が行われています。市場出荷や生食用販売だけでなくジャム加工などの取り組みが予定されています。

峰谷工区ではブルーベリーは0.1haと現在は少ないですが、今後面積拡大を図る予定です。

4 今後の課題と改善方法

峰谷営農組合は夷隅地域の中でも営農については先進地区となっています。柿の摘取りや食用なばなの摘取りなど、早い時期から取り組みを行っていますし、地元はまとまりもよく、かつ積極的であるので人手等が確保出来る事ならば、面積拡大を進めていく事と思われます。

あえて課題として上げるならば、①担い手の所得向上、②組合員（定年帰農者含み）の活躍する場の確保、③労賃の支払える営農品目の拡充などと思われます。

5 その他

(1) 調査協力機関

- ア 峰谷営農組合
- イ いすみ市

(2) 参考図書等

- ア 千葉県農林水産統計年報H18～H19
- イ 千葉県生産農業所得統計H18